

第8回日展 金沢展

大樋年朗「令和の生命の木」
—「第8回日展」より—

武腰敏昭「王道如竜首」(遺作)
—「第8回日展」より—

歴代藩主の甲冑・陣羽織と加賀象嵌鐙 I

【前田育徳会尊經閣文庫分館】

加賀の工芸【古美術】

- 〔企画展Topics〕生誕150年記念 板谷波山の陶芸
- ミュージアムショップのおすすめグッズ
- 令和3年度の新収蔵品
- 〔ミュージアムレポート〕友の会バスツアー
- 学芸室の人々
- 〔参加者募集〕映画上映会「HAZAN」
- 6月の行事予定

第3～9展示室 第8回日展 金沢展

主催／北國新聞社、公益社団法人日展、日展石川会

後援／石川県、金沢市、石川県教育委員会、金沢市教育委員会、一般財団法人石川県芸術文化協会、一般財団法人石川県美術文化協会、NHK金沢放送局、北陸放送、テレビ金沢、金沢ケーブル、エフエム石川、ラジオかなざわ、ラジオこまつ、ラジオななほ

5月28日(土)～6月19日(日) 会期中無休

日展は長い伝統を持ち、所属作家層の厚さと優れた作品で知られ、日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の各分野を網羅し、わが国最大・最高水準の総合美術展として親しまれています。

日展は明治四十年の文部省第一回美術展として発足以来、その時々の改革を重ねながら、常にわが国美術界の中核として日本美術文化に貢献してきました。今回は、平成二十六年の組織改革から数えて八回目の展覧会となります。

東京の本展出品作の中から、文化勲章受賞者、日本芸術院会員、日展理事、会員などの秀作と各賞受賞作品を基本作品として展示します。この中には、いずれも石川県内在住で内閣総理大臣賞を受賞した松崎十朗(日本画)、文部科学大臣賞の大樋年雄(工芸美術)、特選の早崎和代(洋画)の作品が含まれます。このほか、石川県内在住、出身作家の作品を合わせて三三九点が並びます。

◆主な出品作家(五十音順・敬称略)

〈日本画〉土屋禮一、福田千恵、古澤洋子、松崎十朗、村居正之、渡辺信喜

〈洋画〉小灘一紀、児島新太郎、佐藤哲、斎藤秀夫、齋藤均、寺坂公雄、中山忠彦、西田伸一、西房浩二、早崎和代、藤森兼明、松下久信、本山二郎、湯山俊久

〈彫刻〉神戸峰男、川崎普照、中口一也、中村晋也、能島征二、蛭田二郎、宮瀬富之、山田朝彦、山本真輔

〈工芸美術〉伊藤裕司、今井政之、大樋年雄、大樋年朗、奥田小由女、中井貞次、春山文典、千田浩、三田村有純、森野泰明、吉賀將夫

〈書〉新井光風、井茂圭洞、尾崎邑鵬、黒田賢一、高木聖雨、星弘道

◆作品解説日程

	AM(午前) 10:30～12:00	PM(午後) 2:00～3:30
5月30日(月)	主 工芸美術 大樋 年雄 副 太田 いくみ	主 日本画 土農 力 副 石崎 誠和
6月1日(水)	主 洋画 早崎 和代	主 彫刻 村井 良樹
6月3日(金)	主 工芸美術 木谷 陽子 副 中村 基克	主 書 宇多 青沙 副 磯野 朝子
6月4日(土)	主 日本画 平木 孝志 副 松永 敏	主 洋画 本山 二郎
6月6日(月)	主 彫刻 石田 陽介	主 工芸美術 戸出 克彦 副 高名 秀人光
6月8日(水)	主 書 石山 梢葉 副 中田 聰山	主 日本画 古澤 洋子 副 松崎 十朗
6月10日(金)	主 洋画 佐々波 啓	主 彫刻 江藤 望
6月11日(土)	主 工芸美術 山岸 大成 副 角 康二	主 書 三藤 観映 副 東谷 浩子
6月13日(月)	主 日本画 佐藤 俊介 副 谷口 千佳子	主 洋画 児島 新太郎
6月15日(水)	主 彫刻 新澤 博志	主 工芸美術 武腰 一恵 副 辻 宏美
6月17日(金)	主 日本画 瀧川 真人 副 柳橋 広司	主 洋画 青木 良識
6月18日(土)	主 彫刻 中口 一也	主 工芸美術 千田 浩 副 高森 絢子

◆観覧料

	小学生	中学生	大人	
	四〇〇円	七〇〇円	一〇〇〇円	当日
	三〇〇円	六〇〇円	九〇〇円	前売り
	二〇〇円	五〇〇円	八〇〇円	団体

※友の会会員は、会員証掲示により団体料金

【展覧会事務局】

〒920-8588 金沢市南町二番一号

北國新聞社事業局内

第8回日展金沢展事務局

電話・076-260-3581



オンラインチケットはこちら

文部科学大臣賞・大樋年雄
「神の断崖2021」

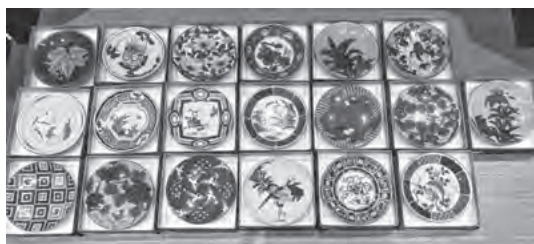
内閣総理大臣賞・松崎十朗「海へ」

ミュージアム ショップの おすすめグッズ

「古九谷風小皿」
古九谷風の絵柄が目をひく、手のひらサイズのかわいらしい小皿です。全19種のほとんどが、石川県立美術館の収蔵作品がモチーフになっているので、観覧記念にぴったりなグッズです！同じ種類をたくさん買うのも、好きな絵柄を選んでお求めになるのも楽しいですね。ちょっとしたプレゼントにもオススメです。

鳳凰や海老などのおめでたい文様、ウズラや布袋といったかわいらしいモチーフ、石畳文やかなた文などのオシャレに使える柄など、豊富に取り揃えて

石川県立美術館総務課 ミュージアムショップ担当
電話：076-231-7580



企画展Topics

板谷波山は チューリップの夢を見たか？

生誕150年記念 板谷波山の陶芸
6月25日(土)～7月24日(日) 会期中無休

六月二十五日より企画展「生誕一五〇年記念 板谷波山の陶芸」を開催します。石川県立美術館所蔵作品から二点出品しており、うち一点は今年度友の会会員証に使われた《葆光彩磁草花文花瓶》という名称です。ただ本展では《葆光彩磁草花文花瓶》という名称です。ご注意ください。

波山の図案帳(出光美術館蔵)に本作と酷似した図案があり、『更紗図譜』の中の「ケシ図模様」と記してあったことが変更の理由です。改めて古い資料を調べると、本作は波山から購入当時「花瓶」という記述のみで、名称に花の名前は入っていませんでした。併せて「チューリップの花瓶」と書かれた古いラベルもあり、「花瓶」だけでは紛らわしかったため、後年「チューリップ文」と付けられたと推察されます。

チューリップは江戸時代末期に日本に入ってから、限られた者しか見ることがなかった花でしたが、大正七年(一九一八)現在の富山県砺波市で、チューリップ球根の商業栽培が始まりました。本作の制作年はその前年頃。とは言え、石川県立工業学校(現石川県立工業高等学校)での教員時代、海外の書籍から図案のアイディアを得ていた波山が、日本では見たことのない花に、目を留めていたかもしれません。

ふっくらとした花弁、芥子とはまったく違う流線型の葉は、チューリップを思わせます。果たして波山はチューリップを見ていたのか。みなさんも作品をご覧になって、考えてみてください。

おります。あなたの好きな絵柄はどれですか？

価格は935円です。同じく古九谷風のフリーカップ(7種・1,375円)もありますので、お好みにあわせてお求めください。

通信販売(送料別)も承ります。お問い合わせは以下の宛先までどうぞ。

板谷波山
《葆光彩磁草花文花瓶》(葆光彩磁チューリップ文花瓶)
石川県立美術館蔵

令和3年度の新収蔵品

No	分類	作品名	作者名	員数	制作年	寄附者
1	木工	桐懸子透彫付隅切飾箱	二代伊藤伊斎	1合	昭和22年 (1947)	伊藤正宏
2	木工	寄木隅切飾箱	二代伊藤伊斎	1合	昭和40年 (1965)	伊藤正宏
3	木工	利休好茶箱	二代伊藤伊斎	1合	昭和45年頃 (1970)	伊藤正宏
4	木工	桑造山並風炉先屏風	二代伊藤伊斎	2曲1隻	昭和時代	伊藤正宏
5	日本画	光	鹿見喜陌	1面	平成3年 (1991)	鹿見初栄
6	日本画	記憶	松崎十朗	1面	平成17年 (2005)	松崎十朗
7	日本画	静かな時	松崎十朗	1面	平成25年 (2013)	松崎十朗
8	日本画	静かな時	松崎十朗	1面	平成30年 (2018)	松崎十朗
9	日本画	海へ	松崎十朗	1面	令和3年 (2021)	松崎十朗
10	油彩画	収穫	高光一也	1面	昭和38年 (1963)	一般財団法人 実践倫理宏正会 金沢支部 代表 普照 奈津代
11	彫塑	危機	石田康夫	1点	平成7年 (1995)	石田妙子
12	彫塑	女性	石田康夫	1点	制作年不明	石田妙子
13	彫塑	面影	石田康夫	1点	平成8年 (1996)	石田妙子
14	彫塑	Kさんの首	岩山豊郁	1点	昭和30年代	石田妙子
15	彫塑	花祭り・鬼	清水良治	1点	昭和58年 (1983)	柏原まさ子
16	彫塑	イカロスの墜落	清水良治	1点	昭和62年 (1987)	柏原まさ子
17	彫塑	鳥女	清水良治	1点	平成11年 (1999)	柏原まさ子

令和3年度新収蔵品 17点 収蔵品総計（令和4年4月末現在） 4,044点



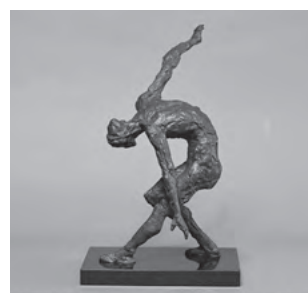
3.二代伊藤伊斎《利休好茶箱》



8.松崎十朗《静かな時》



10.高光一也《収穫》



11.石田康夫《危機》

学芸室の人々

小学校の図工教諭を経て美術館勤務となつて以来、ずっと普及課に所属し、キッズプログラムを中心とした講座やワークショップの開催を中心に担当してきました。私としては、それまで過ごした学校現場を離れ、新たな職種という山にアタックする思いで、日々奮闘してきたように思います。ここ2年の新型コロナまん延により、美術館では今までのようなイベント開催ができなくなっています。しかし、私自身は美術館の普及活動を見直す良い機会と捉えています。急いだ上り坂では見えなかった景色を、違う角度からゆっくり見ながら、美術館の新しい普及活動を、他のスタッフと共に探っていきたいと思っています。

深山 千尋(学芸主幹兼普及課長)

過日、青柳館長から、昨今の文化・芸術について縷々うかがう機会がありました。「日本の才能が漫画の世界へと流れている」との話に、膝を打ちました。「竹光侍」の松本大洋や「チェーザレ」の惣領冬実などの漫画家に、思わず唖ってしまふほどの才能を常々感じていたからです。と同時に未だ漫画文化に懐疑的な自分も存在し、文学や純粹美術に比べ、格下に見ていたことにも気づいた次第です。さて、昭和漫画界の巨匠赤塚不二夫には、数々の名言があり、職業柄、心に留めている言葉があります。曰く「頭のいいヤツは、わかりやすく話す。頭の悪いヤツほど、難しく話すんだよ。」至言です。

前多 武志(学芸第一課長)

ミュージアムレポート 友の会第19回バスツアー報告 体験！富山の工芸 ～高岡銅器と井波彫刻～

早いものでコロナ禍となり二年余り。まん延防止等重点措置の発出による中止や延期が重なり、参加を希望された皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。今回、何度目かの正直で、やっと開催することができました。新しい試みに挑戦した第19回バスツアーを報告いたします。

小雨が降り、肌寒くなったバスツアー当日。「体験！富山の工芸」をテーマとした本ツアーでは、まず「鑄物メーカー」「能作」で鑄造体験をしました。ここでの体験は実際の職人と同様のかなり本格的なもの。能作のスタッフの方も、「型を外すまで成功しているかどうかわかりません」とのこと。そんな心配をよそに体験された全員が成功し、世界でただ一つのお土産ができました。

午後は金属の着色を専門とする「モメンタムファク

トリート」を訪問、折井宏司氏(代表取締役)にご説明いただきました。実際に薬品と炎を駆使した着色も見せていただき、がらりと色が変わる様子に思わず感嘆の声も。能作での体験と併せて、鑄造から着色までの鑄物製作の一連の流れについて理解を深めました。最後に、井波彫刻で有名な瑞泉寺へ。境内の彫刻は圧巻の一言。大変細やかで迫力がありました。「井波の風」というガイドの方に周辺の町並みもご案内いただき、彫刻だけでなく歴史への知見も広めました。皆さまのおかげで今回も大きなトラブルなどなく、無事に終わることができました。ご参加いただき、誠にありがとうございました。今後満足いただけるイベントを開催予定です。皆さまのご参加を心よりお待ちしております！

(実施…令和4年3月19日(土))



〔参加者募集〕

映画上映会「HAZAN」

企画展「生誕一五〇年記念 板谷波山の陶芸」の関連行事として、映画「HAZAN(2003年)」を上映します。陶芸家として初めて文化勲章を受賞した板谷波山。彼の世に認められるまでの辛苦の生活と、彼を支えた家族を描いた作品です。企画展鑑賞と合わせてお楽しみ下さい。

映画上映会「HAZAN」(108分)

日時…令和4年7月10日(日)

13時30分～15時20分

会場…石川県立美術館ホール

定員…100名(予定)

※要申込・定員を超えた場合は、抽選となります

料金…無料

開場…上映30分前

※友の会先行入場はございません

◆ストーリー

五十嵐 匠監督作品。土と、火と、自然と向き合い、美を追究した陶芸家・板谷波山の生涯と、それを支える家族を描く作品。すべてを投げうって陶芸に自らの生涯を捧げる決心をする波山。やきものを芸術の域まで高めたと評される波山。芸術を愛し、家族に愛された一人の人間を描いた美しい物語。

◆申込方法

①参加者全員の氏名 ②電話番号(代表者のみ) を明記の上、メールまたは往復はがきにてお申し込み下さい。なお、申込は2名までとなります。

メールの場合

メールアドレス… ishibi@pref.shikawa.lg.jp

件名「映画上映会申込」 本文に①、②

往復はがきの場合

往復はがき(往信表)…

〒920-0963

石川県金沢市出羽町2-11

石川県立美術館 映画上映会 係

(往信裏)に①、②

(復信表)にご住所とお名前、復信裏には何も書かずをお願いします

申込期間…6月6日(月)～6月20日(月)(当館必着)

6月の行事予定

■企画展「生誕一五〇年記念 板谷波山の陶芸」関連行事 講演会

13時30分～15時 美術館ホールにて 無料 申込不要

25日(日)

演題…「板谷波山～近代陶芸界における役割とその成果」
講師…荒川正明氏(学習院大学教授 展覧会監修)

※日時や定員等を変更、または中止する場合がございます。
最新情報は当館公式ウェブサイトをご確認ください。

ご参加にあたってのお願い

- ① 来館時にサーマルカメラによる体温チェックを行います。
発熱等体調に不安がある方の参加はご遠慮ください。
- ② マスクの着用、手指消毒の徹底をお願いします。
- ③ 参加時は受付名簿に氏名と連絡先をご記載ください。
- ④ 会場内では会話を極力ご遠慮ください。

生誕150年記念 板谷波山の陶芸

企画展Topics

会期：令和4年6月25日(土)～7月24日(日)

《彩磁沢瀉花瓶》
東京藝術大学蔵

《少年・少女像》
石川県立工業高等学校蔵

《青磁蓮華文水差》
板谷波山記念館蔵

《葆光彩磁牡丹文様花瓶》
東京国立近代美術館蔵

《彩磁瑞花祥鳳文花瓶》
MOA美術館蔵

《彩磁落葉文大花瓶》
廣澤美術館蔵

次回の展覧会

令和4年6月25日(土)
～8月1日(月)
会期中無休

前田育徳会 尊経閣文庫分館		第2展示室	
歴代藩主の 甲冑・陣羽織と 加賀象嵌鎧Ⅱ		古九谷と 再興九谷Ⅰ	
第3・6展示室	第4展示室	第5展示室	1F企画展示室
優品選 【近現代絵画・彫刻】	時の表現 【近現代日本画】	波山と石川 【近現代工芸】	生誕150年記念 板谷波山の陶芸 【6/25～7/24】

ご利用案内

コレクション展観覧料

一般 370円(290円)
大学生 290円(230円)
高校生以下 無料
※()内は団体料金
6月6日は第1月曜日より
コレクション展示室無料の日

6月の開館時間

午前9:30～午後6:00

カフェ営業時間

午前10:00～午後6:00 年中無休

6月の休館日は
20日(月)～24日(金)

『石川県立美術館だより』に広告を掲載しませんか？

石川県立美術館友の会会員・石川県立美術館協力者・
県内各行政機関及び文化施設・全国の美術館・博物館へ

郵送配布！

2,500部発行

詳しくはお問い合わせください

株式会社ウィット Tel.072-668-3275

株式会社ウィット 検索

〒569-0071 大阪府高槻市城北町1丁目14-17-501

Fax.072-668-3276

HP.https://wi-t.co.jp/

WEBお問合せ
フォームはコチラ



石川県立美術館だより
第464号(毎月発行)
2022年6月1日発行

〒920-0963
金沢市出羽町2番1号
Tel:076(231)7580
Fax:076(224)9550
URL <http://www.ishikawapref.ishikawa.jp/>

石川県立美術館は電源立地地域対策
交付金を活用して運営しています。